

ある大晦日の夜。

ボロボロの服を着たマッチ売りの少女が、  
寒さにふるえながら一生懸命に  
マッチを売っていました。

じつは、このマッチには秘密があります。

それは、マッチの棒が、ある国に起きた地震で津波の被害にあい、原子力発電所が  
爆発して放射能汚染されてしまって処分に困っていた瓦礫から作られていると  
いうこと。

クリスマスの日、見知らぬ男が少女の前に現れ、

「クリスマスプレゼントだ。この瓦礫をリサイクルしたマッチを売れば、君はしばらく  
お金に困ることはなくなるよ。8000 ベクレル /kg 以下の安全な瓦礫だから  
大丈夫だよ。」

と言って、少女にマッチを渡したのです。



少女は、

「よくわからないけど、瓦礫で困っている人達が助かるなら…」と、  
引き受けました。

「マッチはいかがですか〜？」

「このマッチは日本の瓦礫をリサイクルしたものです。瓦礫で困った人達の為にも  
なります。」

町の人は、

「瓦礫だって？それは大変だ！買おう！買おう！」と言い、飛ぶように売れました。

